

## 『宣教のわざに共に仕える同労者』

吉田真司

先週4月29日(月)、役員研修会を行いました。新しく執事になられた方もあり、午前中は「執事、各部の働き」について共に学びました。「執事は、教会の宣教のわざに牧師と共に仕える同労者」であること。それは「牧会」「礼拝」「伝道」「教育」「社会」「総務」「財務」という様々な働きに及ぶことを共有しました。以下に、その内容から抜粋します。

- 「牧会」の働き(宣教部、信徒部)・・・牧会は、一人一人がみ言葉によって成長し、キリストのからだなる教会を建て上げる人となるように配慮することである。
- 「礼拝」の働き(礼典部、奉仕部)・・・礼拝は、教会活動の土台となるもの。教会は何をさておいても礼拝に尽くす。そして礼拝の充実と向上は継続的なテーマである。
- 「伝道」の働き(伝道部、宣教部)・・・大宣教命令(マタイ 28:18-20)を主は命じられた。教会はつねに伝道の使命に立って、その働きを遂行する。
- 「教育」の働き(教育部)・・・教会員一人一人が主の証人となるためには教育と訓練が欠かせない。教会教育は幼児から高齢者までを対象とした「生の全領域」に関わるわざである。
- 「社会」の働き(宣教部)・・・社会のすべての人々の基本的人権や生活が守られ、キリストの愛と正義が実現されるように祈り行動するのも伝道の内実の一つ。隣人愛の実践である。
- 「総務」の働き(総務部)・・・教会は社会的存在であり、組織としての働きに伴う諸般の事務(「書記・事務管理」「文書発行」「会堂の管理」「対外関係の業務」など)が求められる。
- 「財務」の働き(財務部)・・・教会財政は、福音宣教の働きをどのように担うかという教会の姿勢を表わすもの。予算は数字で表された教会の宣教計画、決算は教会の宣教報告である。

研修会では、他に、「執事と教会事務スタッフの協働について」を取り上げ(午前中は事務スタッフも参加)、特に現行の週報発信方法と今後の展開について意見を交わしました。また「礼拝司式者のことば」「礼拝時における緊急対応マニュアル」の確認、さらには役員会運営(開催方法、資料の共有方法、会議時間)の合理・効率化について協議しました。久しぶりの対面での役員研修会、主にある交わりに感謝!

## 教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(幼児、幼児、小学生、中高生、		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30~12:00
家庭集会(相模原)	第二火曜日	午前 10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&amp;FAX 046 (274) 3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>